

## NO10 事業報告書

## 令和2年度事業報告

### はじめに

我が国においては、人口減少と少子高齢化が進展し、人生百年時代を迎え誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められる状況にあります。こうした状況下、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内においては緊急事態宣言などにより経済活動が停滞し、すべての産業に多大な影響を与えました。さらに、その影響は個々の働き方やライフスタイルを大きく変えました。

そうした中、当センターでは新型コロナウイルス感染拡大防止策の一環として「社会的距離」や「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避けるなどの方策を行い、「安全・安心」を優先に会員が一堂に会する各種行事を中止にしました。

さて、管内の雇用情勢は有効求人倍率が1.03倍（すかがわ統計月報3年4月）、福島県平均より0.23倍低く、月間有効求職者数は2,161人、うち60歳以上の高齢者求職者数は494人と高齢者雇用の求人は少なく業種などにより、ばらつきも見られる状況にありました。

センター就業においては、安全な就業を確保し適正就業ガイドラインを遵守しつつ、事業の効率的・効果的な運営を心がけながら、会員の多様な就業就労ニーズに応えるため、日常生活に密着した就業機会の確保と提供を行い、生きがいの充実と社会参加への促進、かつ地域社会の活性化に努めました。

また、「自主・自立・共働・共助」の基本理念を堅持しながら、会員が地域社会の「支え手」、「担い手」になれるよう事務局体制の見直しを進めました。

令和2年度事業実績は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により会員数は582人、就業延日人員は目標としていた60,000日人より5,157日人少ない54,843日人とどまりました。

会員の就業就労による契約金額においても3億795万円余、前年度比18,344千円余の減少に転じました。令和2年度事業実績は次のとおりです。

### (1) 令和2年度事業実績

単位：人・件・日人・円

事業名	項目	会員	受注件数	実人員	事業別 実人員	就業延日人	契約金額
事業実績	事業実績	582	3,696	481	540	54,843	307,955,974
	受託（独自）事業	582	3,614	481	329	33,012	184,004,083
	指定管理事業		5		59	6,675	23,313,186
	労働者派遣事業		75		143	14,281	100,095,449
	職業紹介事業		2		9	875	543,256
前年度事業実績		577	3,943	499	562	60,866	326,300,212
比較増△減		5	△247	△18	△22	△6,023	△18,344,238

注 上記、職業紹介事業の就業延日人は紹介手数料を頂いた6ヶ月間で、契約金額は賃金6ヶ月分にかかる手数料金額です。

### 1 就業機会開拓、機能強化推進事業の推進

#### (1) 会員拡大確保事業

センター広報資料・会員の口コミなどの入会促進により、新たに51人のシニアがセンター事業に賛同し入会されました。これらは「シルバー人材センターに入会しませんか」、「シニアパートナー募集」などのチラシ・リーフレットを全戸に複数回にわたり配布回覧し周知したこと、会員一人一人が「会員になれそうな

友人・知人・家族」を会員として紹介する制度を第4四半期から実施し、会員6人から紹介をいただいた6人が入会し会員となりました。また、入会説明会を月に2回を原則として定期的を開催するなか、一般企業等からの求人の要望に即時に対応するため、臨時の入会説明会を開催した結果によるものと思われます。

一方、退会された会員46人の方々の退会理由は、病気・加齢・家庭介護などの事情によるものとなっています。センターが本年度目標に掲げた会員620人は達成されませんでした。平成30年度から実施している全国シルバー人材センター事業協会「会員100万人達成計画」の目標値については、会員578人より4人多い582人となり、3年連続で達成することが出来ました。

こうしたなか、全会員の平均年齢は73.2歳と前年度より0.6ポイント高く、このような傾向がここ数年続いています。これらの要因の一つには、一般企業等における定年延長、再雇用制度などの雇用延長によるものと考えられます。また、会員の入退会の状況を見ると、センター事業に賛同し新たに会員になられた会員の平均年齢は、68.1歳、退会会員の平均年齢は72.3歳となっています。入退会年齢から見える会員在籍期間は、おおむね4年程度で前年度とあまり変わらない結果となりました。

会員の入会・退会及び年齢別会員状況は次のとおりです。

① 入会・退会状況

単位：人・%

項目 年度別	入会者				退会者				現存数		
	男	女	計	入会率	男	女	計	退会率	男	女	計
令和2年度	32	19	51	8.7	25	21	46	7.9	357	225	582
令和元年度	37	25	62	10.7	32	23	55	9.5	350	227	577
比較増△減	△5	△6	△11	△2.0	△7	△2	△9	△1.6	7	△2	5

② 年齢別会員状況

単位：人

項目 年度別	64歳以下		65～69歳		70～74歳		75歳以上		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
令和2年度	14	12	98	47	135	85	110	81	357	225	582
令和元年度	19	15	99	58	130	75	102	79	350	227	577
比較増△減	△5	△3	△1	△11	5	10	8	2	7	△2	5

(2) 受託独自事業（労働者派遣事業）の推進

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第1四半期は一般企業等と個人家庭からの受注が著しく減少し、前年度より135件、年間では248件の減少となりました。このため、受注目標値4,200件を達成することが出来ませんでした。会員が就業就労で得られた受取配分金・賃金は、就業者1人当たり、533,667円となり、県内センターの中では高収入となっています。

① 年度別就業実人員1人当たりの受取配分金（賃金）

項目	配分金・賃金（千円）	年間1人当配分金賃金（円）	実人員（人）	備考
令和2年度	251,891	533,667	472	職業紹介事業は発注者から直接就労会員へ賃金として支払うため、事業実績を除いている。
令和元年度	269,205	551,649	488	
平成30年度	255,258	530,683	481	

② 公共・民間別事業実績

単位：件・人・人日・円・%

項目	受注件数	実人員	就業延人日	契約額(配分金・材料費等)	前年度契約額	増減率
公共事業	475	472	5,182	29,474,299	31,093,267	94.7
指定管理事業	5		6,675	23,313,186	27,484,902	84.8
公社公団等	134		3,946	19,979,454	21,405,532	93.3
一般企業等	1,040		16,731	85,036,429	88,300,995	96.3
個人家庭	1,962		7,136	49,457,901	54,536,442	90.6
独自事業	3		17	56,000	248,260	22.5
合計	3,619		472	39,687	207,317,269	223,069,398

(3) 独自事業の推進

会員の就業機会の確保をすることを目的に実施している独自事業の再生自転車製作事業においては、製作する会員の確保が課題となって十分な活動が出来ませんでした。また、ハンドクラフト班が制作し販売する「モップのお人形製作」、手作り趣味の会会員が制作し即売する「手工芸品」も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を縮小し、販売及び即売を中止としました。そうしたなか、薫工品部会の「彼岸花」製作販売事業は、人員を減らし製作本数を削減し限定販売としました。次年度以降は会員の育成と確保を目標に講習会などを開催します。独自事業の事業実施状況は次のとおりです。

独自事業の実施状況

単位：人・日人・円

事業名	部会名等	実人員	就業延日人	契約金額	時期
再生自転車製作販売	再生自転車班	1	2	5,300	通年
モップのお人形製作販売	ハンドクラフト班	4	0	0	通年
彼岸花製作販売	薫工品部会	2	15	50,700	12月～1月
手工芸品製作販売	手作り趣味の会	19	0	0	通年
令和2年度事業実績		26	17	56,000	—
令和元年度事業実績		36	52	248,260	—

(4) 労働者派遣事業と職業紹介事業の推進

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の基本原則を守り、新規に受注した就労に関しては、会員が長年培ってきた豊富な経験や知識を活かせるよう、事務局職員とマッチング推進員（県シルバー人材センターが雇用）が情報の共有を図り、連携しながら会員の就労機会の拡大と確保を推進しました。また、「シルバー人材センターで働く高齢者の就業日数などの上限や請負、委任、派遣、職業紹介といった高齢者の就業形態別の業務方法など」を紹介する就業の冊子を、一般企業等に配布周知し事業の拡大に努めました。

① 労働者派遣事業

一般企業等からの新規受注に関しては現場に赴き、仕事の内容を精査し発注者の理解を得ながら派遣事業を希望する会員に就労の機会の提供を行い、さらに発注者や就労会員からの意見・要望・提案などを聞き入れ事業を推進し、2年連続で1億円を超えることが出来ました。今後も派遣事業を拡大させ健全で安定した事業運営を行っていきます。労働者派遣事業実績は次のとおりです。

労働者派遣事業実績

単位：人・日人・件・円

年度別 項目	登録 人員	就業 実人員	受注 企業数	受注 件数	就業 延日数	契約金額 (賃金・手数料等)	
						うち センター手数料	
令和2年度	209	143	32	75	14,281	100,095,499	15,143,201
令和元年度	204	150	31	75	15,111	102,761,622	15,612,065
比較増△減	5	△7	1	0	△830	△2,666,123	△468,864

② 職業紹介事業

求人者と求職者の間における雇用関係の成立を斡旋する事業「職業紹介事業」の事業拡大を図るため、福島県シルバー人材センター連合会が主催した「高齢者活躍人材育成事業講習：保育補助スタッフ講習（保育の役割・保育補助の心得等の基礎知識を学ぶ初心者向けの講習）」を須賀川市内及び近隣の市町村の高齢者が受講しました。職業紹介事業の事業実績は次のとおりです。

職業紹介事業実績

単位：人・日人・件・円

年度別 項目	登録 人員	就業 実人員	受注 企業数	受注 件数	就業 延日数	契約金額（賃金）	
						手数料	
令和2年度	9	9	2	2	875	4,938,735	434,612
令和元年度	12	12	1	1	823	4,341,243	375,321
比較増△減	△3	△3	1	1	52	597,492	59,291

注 職業紹介事業にかかる賃金は、雇用関係が発生するため、求人先が会員に支払い、手数料は紹介事業手数料規程（手数料比率）に基づき、福島県シルバー人材センター連合会と須賀川市シルバー人材センターの受取手数料となります。

※ 臨時的かつ短期的又は軽易な業務とは

就業区分	就業日数・時間	備考
臨時的かつ短期的な業務	概ね月10日程度以内	一時的に上限を超えて就業することができますが、恒常的に上限を超えて就業することはできません。
軽易業務	概ね週20時間を超えないことを目安	

2 安全適正就業推進事業の推進

安全で適正な就業の推進はセンターの根幹であるため、安全管理委員会委員を中心に安全適正就業推進基本計画を策定し、組織的・計画的に取組み事業を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の中、全国一斉「安全適正就業強化月間（7月）」に併せ、安全就業パトロールを実施したほか、7月1日から10月31日までの期間を「蜂石事故防止月間」と定め、屋外で作業する会員の事故防止に努めました。その結果、事故件数は傷害事故が5件（損害事故0件）と例年を大幅に改善することが出来、連続無事故日数も158日と延伸しました。また、安全管理委員会委員が企画立案し3月に実施する「安全適正就業推進大会」、須賀川市長による「記念講話」の講演は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止といたしました。

(1) 安全適正就業推進計画に基づく事業の推進

推進計画に基づき、安全適正就業推進大会の開催など重点事項9項目を定め、会員の就業中・就業途上における事故防止に努めるほか、健康診断受診及び診断書提出義務を「事務局お知らせ版」、「安全就業ニュース」などを活用し会員へ周知しましたが、提出者は40%に留まり今後の課題として残りました。

(2) 適正就業ガイドラインに沿った会員就業の推進

ここ数年、会員の働き方にかかるガイドラインが示されるなか、公益社団法人として法令を遵守し、適正就業ガイドラインに沿った業務運営を行ないました。また、適正就業として問題のある場合は派遣・職業紹介事業などに切り替えるほか、「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務にかかる就業」の範囲を著しく逸脱していると思われる就業については、発注者に理解を求め是正を行いました。会員就業においては、すべての会員がワークシェアリング（公平・平等な就業）に基づき、ローテーションによる就業ができるよう連絡体制を取り進めました。令和2年度の傷害損害事故状況は次のとおりです。

傷害、損害事故状況

単位：件

		令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
傷 害 損 害 事 故	傷害事故 ①	5	5	0	
	転倒、転落	4	1	3	
	踏み抜き、刺し	0	1	△1	
	飛来、落下	0	1	△1	
	無理な動作、動作の反動	1	0	1	
	その他	0	2	△2	
	損害事故 ②	0	5	△5	
事故件数合計 (①+②)		5	10	△5	
就業区分	就業中	4	9	△5	
	就業途上	1	1	0	

3 普及啓発事業と相談事業の推進

(1) 普及啓発事業の推進

センター事業の活動状況を「会報」、「かわら版」などを作成し、管内の地域住民に広く周知するほか、ホームページによる情報発信、広報媒体による普及活動を行いました。令和2年度の普及活動及びボランティア活動状況は次のとおりです。

① 普及啓発活動

項	目
会報「シルバーだより70号」の発行（会員数及び請負、派遣の受注及び就業実態等）	
チラシ「かわら版1号、2号」の発行（会員の意識調査、発注者からの声、年齢構成、月間就業就労時間の比率）	
シルバー人材センターのご案内の回覧配布（高齢者の就業日数・時間、形態、シルバー派遣、職業紹介等）	
須賀川市役所ロビー掲示板を活用したお知らせ（センター事業の目的、位置図等）	
街頭普及活動（はたけんぽ入口、tette入口）、高速バス時刻表の折り込みにセンター名を記載したチラシの配布	

② ボランティア活動状況

単位：人

項	目	月 日 (曜日)	参加者	備 考
須賀川市民温泉広場		2月25日 (木)	11	市民温泉藤棚の剪定作業
合 計			11	
前年度 (ボランティア活動4回/年)			155	

## (2) 高齢者相談事業等の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

## 4 調査研究事業と訓練研修事業の推進

センターの事業運営（組織運営、事務局体制及び事務運営、会員増強及び就業機会の拡大確保、安全適正就業対策、指定管理施設等運営など）を円滑に推進するため、関係機関や関係団体などが開催する研修・セミナーなどに、職員が出席できるように心がけました。

### (1) 調査研究事業の推進

会員の就業に対する意識の変化や就業の実態、在籍会員の現状と問題点などについて把握するため、「会員意識調査」、発注者のご意見・ご要望等に応えるための「発注者満足度調査」を実施し、業務運営に活かすことといたしました。

### (2) 訓練研修事業の推進

福島県シルバー人材センター連合会が主催する「高齢者活躍人材育成事業（刈払機取扱講習など）」のチラシ・リーフレットを会員及び個人家庭全戸に配布回覧し、管内のシニアが受講できるよう努めました。

## 5 センター組織の活性化と事務局体制の充実の推進

シルバー人材センターが受注する多種多様な顧客の要求に迅速、かつ丁寧に対応するよう心がけて事業を推進するなか、会員及び職員相互のコミュニケーションと情報共有を図り、業務管理（PDCA）による改善と職員のスキル向上に努めました。

## 6 公の施設（指定管理施設）の健全な管理運営の推進

「須賀川市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例」のもと、指定管理者制度により指定管理者として、公共施設の利用目的に沿った管理運営を推進してきましたが、昨春の緊急事態宣言によって公共関連施設の4月、5月は休館となり該当会員の多くが就業をすることが出来ない状況となりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響によって公共交通の利用者は減少、須賀川駅前自転車等駐車場等については状況に応じて就業体制を見直し、営業時間の短縮などを実施して対応してきました。

須賀川市老人福祉センター等温泉3施設においても、営業時間の短縮、休館及び休憩室での利用者の制限及び食事の禁止を行い、また、貸館の一部を制限するなどの措置を取り、「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避けるなど感染拡大防止対策を講じながら運営してきました。

### (1) 須賀川駅前自転車等駐車場等

交通手段などの変化や駅前周辺の民間有料駐車場の低料金により、利用者数及び利用料は大幅に減少し、須賀川市から戴いている年間委託料と利用料で施設の維持管理をすることが困難な状況になりました。こうしたなか、須賀川市より市指定管理者持続化事業支援金が交付され、利用者の立場に立った施設の管理運営を行いました。

### (2) 須賀川市老人福祉センター等温泉3施設

親切丁寧な対応と公平・平等な利用の確保を最優先に就業全会員で取り組みながら、利用者の安心・安全を

第一に考え利用者の拡大に努めました。このため、A I 検温カメラの設置、利用者の要望に応え施設内の脱衣所の棚など施設内の数か所を修繕し、利用者の立場に立った施設の維持管理運営を心がけました。

こうした中、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、営業時間の短縮、休館などに追い込まれ、施設の利用料収入は前年度と比較し、9,800千円余の減少となる中、須賀川市から市指定管理者持続化事業支援金、福島県より福島県コロナ対策協力金・支援金などが交付されました。

令和2年度須賀川駅前自転車等駐車場等及び須賀川市老人福祉センター等の事業実績は次のとおりです。

須賀川駅前自転車等駐車場等及び須賀川市老人福祉センター等の事業実績

単位：人・日人・円

区 分	項 目	会 員 の 就 業 状 況			施 設 の 利 用 状 況	
		実人員	就業延日人	契 約 金 額	利 用 人 員	利 用 料 収 入
駐 車 場 等	須賀川駅前自転車等駐車場	12	1,227	4,714,893	10,192	3,314,880
	須賀川市駅前駐車場	(須賀川駅前自転車等駐車場就業者兼務)			5,275	1,259,400
	小 計 ①	12	1,227	4,714,893	15,467	4,574,280
福 祉 施 設	須賀川市老人福祉センター	17	1,462	4,778,824	12,992	3,838,940
	須賀川市民温泉	17	2,273	8,381,400	80,145	21,031,260
	須賀川市老人憩の家	9	1,251	4,448,000	6,538	1,282,730
	小 計 ②	43	4,986	17,608,224	99,675	26,152,930
	独自事業（カラオケ利用料等）③	4	462	990,069	6,538	990,069
	令和2年度事業実績（①②③）	59	6,675	23,313,186	115,142	31,717,279
	令和元年度事業実績（①②③）	76	8,034	27,484,902	172,496	42,755,838
	事業実績前年度比較 増 △減	△17	△1,359	△4,171,716	△57,354	△11,038,559